

[粕屋演習林]10. 昭和46年度の在来スギの採種量

宮崎, 安貞
九州大学農学部附属演習林 : 助教授

柳池, 一馬
九州大学農学部附属演習林 : 林業手

長沢, 久規
九州大学農学部附属演習林 : 林業手

<https://doi.org/10.15017/1462108>

出版情報 : 演習林研究経過報告. 昭和46年度, pp.130-130, 1972. 九州大学農学部附属演習林
バージョン :
権利関係 :



10. 昭和46年度の在来スギの採種量

宮崎安貞・柳池一馬・長沢久視

昭和46年度に粕屋演習林生ケ谷スギ採種林から採れたスギ種子は、合計1,215gで、これは昨年度に比べて約2.3倍の豊作であつた。各系統別にその採取量を示せば表1のとおりである。

表1 昭和46年度の在来スギ採種量

系 統 名	数 量 g	系 統 名	数 量 g	系 統 名	数 量 g
モ ト エ	110	ナ ガ エ ダ		オ ド リ	130
ク モ ト オ シ	120	ヤ ブ ク グ リ	100	ヨ シ ノ	80
ア カ バ		キ ウ ラ ボ		ハライカワ725号	140
シ チ ゾ ウ	175	ナ カ マ A	110	秋 田 ス ギ	5
ヤ マ グ チ		ウ ラ セ バ ル			
コバノウラセバル		キ ジ ン			
ヒ ノ デ	165	イ ワ オ	80	計	1,215g

11. ヒノキ精英樹その他におけるオープン種子からの子供苗木の養成試験

宮崎安貞・柳池一馬・長沢久視

昭和46年度に行なつたヒノキ精英樹、さし木品種ナンゴウヒ、およびサワラの第1回床替本数は、合計2,244本で昭和47年5月現在、いずれもきわめて旺盛な生育を示している。表1にその内訳本数を示した。

表1 ヒノキ属第1回床替本数

系 統 名	本数(本)	系 統 名	本数(本)	系 統 名	本数(本)
サ ワ ラ	1,504	宇和島 3号	1,604	大 分 7号	1,504
粕 演 12号	1,460	嘉 穂 5号	392	長 崎 1号	1,328
中 津 9号	1,032	遠 賀 1号	600	藤 津 2号	1,712
大 正 2号	440	中 津 10号	1,432	始 良 40号	1,544
中 村 1号	640	神 崎 4号	1,504	大 正 1号	1,176
粕演9～10号	384	ナンゴウヒノキ	576	宇和島 2号	1,648
箱 根 3号	344	久 原 1号(下)	1,616	計	2,2440